

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 30
2018.10

TOPICS

1

平成30年度秋季岡山大学入学式、 大学院入学式を挙行

本学は10月6日、秋季入学式を創立五十周年記念館で行い、新たに入学したグローバル・ディスカバリー・プログラムの学生25人と大学院生72人が大学生活へのスタートを切りました。

榎野博史学長は英語で式辞を述べ、「私たちは、皆さんが岡山大学で学ぶ間に、世界のリーダーとなり、起業家精神と革新的な展望を得て、学際的協力者となることを期待しています」と新入生を激励。新入生を代表して、グローバル・ディスカバリー・プログラムのタヌウィジャヤ クリストフォルス セリさんが「私たち2018年度新入生一同は、自らのモチベーションや情熱のためだけでなく、より良い未来に向けて、常に変化し続ける社会を改善していくうえで欠かすことのできない役割を担えるよう専心することを誓います」と宣誓しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7950.html



TOPICS

2

ホームカミングデイ2018を開催!!



本学は10月20日、同窓生や地域の人を招き、大学に親しんでもらうイベント「ホームカミングデイ2018」を開催しました。

本イベントは、応援団総部による力強い演舞で開幕。メイン会場の創立五十周年記念館では、歓迎式典や岡山大学Alumni総会、備前焼の人間国宝・伊勢崎淳氏による講演会を実施しました。メイン会場周辺では、卒業生や学生、大学関係者らによる模擬店が並んだほか、県内外の人気店が集まる「ストライプマルシェ」が開かれました。うらじゃ連「楽鬼(らっき)」による演舞や、音楽系サークルが出演する「ミュージックフェスティバル」、茶道部お茶席なども開かれ、来場者は楽しそうに会場を回っていました。



参考 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/homecoming2018.html>

最近の大学の取り組み

岡山大学広報「いちよう並木」Vol.90を発行



本学の活動などを紹介する広報誌「いちよう並木」Vol.90を発行しました。

今号では、「人類の今と未来をつなぐ～SDGs達成に向けて～」と題し、国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた岡山大学の研究活動を紹介しているほか、学生の活躍について取り上げています。

ぜひ、ご覧ください。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7958.html

皇太子同妃両殿下御成婚を記念して始められた「国際青年交流会議」に横井副学長がSDGsに関するディスカッションのファシリテーターとして参加



横井副学長のファシリテーションによるディスカッションを視察される皇太子同妃両殿下(写真は主催者から提供)

9月26～28日に開催された、国際青年交流会議に本学の横井篤文副学長が招待され、SDGsに関する基調講演および皇太子同妃両殿下の視察を賜ったディスカッションのファシリテーターを務めました。

国際青年交流会議は、平成6年に皇太子同妃両殿下の御成婚を記念して開始。青年の社会参加への意識を高め、国際社会の発展に資することを目的としており、国際青年育成交流事業の一環として、内閣府と一般財団法人青少年国際交流推進センターと共催で開催しています。本年は、国連が定める「持続可能な開発目標(SDGs)」を総括テーマとし、その理念と本質の理解や、広く国際社会における諸課題について討論が行われました。

26日には、国際青年育成交流事業により海外に派遣された日本青年および海外から日本に招へいされた外国青年たち約100人に向けて、横井副学長が基調講演を行いました。27日のディスカッションでは、皇太子同妃両殿下の視察を賜り、「水と災害」を例に、オーストリア、チリ、ドミニカ共和国、ラオス、ラトビア、ベトナム、日本の7カ国の青年9人が、自らの経験や課題について英語で意見交換を行いました。視察の後、皇太子同妃両殿下は一人一人と握手を交わしながら、ねぎらいの言葉を掛けられていました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7964.html



第1回ジャパンSDGsサミットで、佐藤副理事が本学のSDGsの取り組みについて講演

10月6、7日に金沢工業大学で開催された「第1回ジャパンSDGsサミット」で、佐藤法仁副理事(企画・評価・総務担当)・URAが、本学のSDGsの取り組みについて講演を行いました。

同サミットは、第1回ジャパンSDGsアワード受賞団体・SDGsビジネスアワード2017受賞団体を核とし、SDGsにおけるわが国の知見を地方に集め、SDGsの最前線の取り組みや状況を共有することなどを目的に開催。2日間のサミットには延べ110人(41機関)が参加しました。

佐藤副理事は講演で、本学と多様なステークホルダーとの協働によるSDGs活動の実績のほか、岡山におけるESDの実績、SDGsのグローバル展開やスポーツを核とした持続可能な都市づくりへの貢献などについて事例をもとに紹介しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7966.html



アイスホッケー部(女子)が「第6回日本学生女子アイスホッケー大会」で準優勝！！



10月18～21日、「第6回日本学生女子アイスホッケー大会」が月寒体育館スケート場と星置スケート場(北海道)で行われ、本学アイスホッケー部(女子)が準優勝しました。

本大会には、地区予選を勝ち抜いた全国の16大学が出場。準決勝では、第1回大会優勝校である東京女子体育大学に4対1で勝利。決勝では、日本体育大学に2対3で惜敗しましたが、大会3連覇中の王者をあと一步のところまで追い詰め、堂々の準優勝となりました。また、本大会の優秀選手に贈られるベスト6に、フォワード部門では西陽子さん(教育学部4年)、ディフェンス部門では岡本真帆さん(経済学部4年)が選出されました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8011.html



ノーベル賞受賞が決定した本庶佑特別教授が講演

10月21日、本学が後援する第55回日本小児アレルギー学会学術大会(会長 大学院医歯薬学総合研究科 池田政憲教授)において、本庶佑特別教授(京都大学高等研究院; 2018年ノーベル生理学・医学賞受賞決定)が「がんを免疫力で治す」と題して講演し、同学会員など医療関係者約1000人が聴講しました。

本庶特別教授は、ノーベル賞受賞理由となった、がん免疫療法につながる活性化T細胞の表面に発現する「PD-1」の発見や、新型がん治療薬「ニボルマブ(製品名オプジーボ)」の開発と応用について詳しく説明。「がん治療では、最後は、われわれの免疫機構が、がん細胞の止めを刺している。免疫チェックポイント阻害薬などを用いた免疫療法は、やがて、がん治療の主力の1つになるだろう」とアピールしました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7995.html

